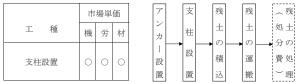
訂正前



- (注) 1. 材料の小運搬・持ち上げを含む。
 - 2. 支柱設置用アンカーの材料費及び設置費を含む。
 - 3. 支柱設置時に発生する残土の処理(処分費)は含まない。

2-2 市場単価の規格・仕様区分

落石防止網(ロックネット)設置工の市場単価の規格・仕様区分は下表のとおりである。

表2.1 市場単価の規格・仕様区分(金網・ロープ設置)

3,4.	113-20 十 四 02 750		(並持一) 改造/	
	規 格・	仕 様		単 位
亜鉛メッキ 3, 4種	(Z-GS3, 4)	線径 2.6mm		m2
亜鉛メッキ 3, 4種	(Z-GS3, 4)	線径 3.2mm		2m
亜鉛メッキ 3, 4種	(Z-GS3, 4)	線径 4.0mm	·	m2
亜鉛メッキ 3, 4種	(Z-GS3, 4)	線径 5.0mm		m2

- (注) 1. 表中の()内は, JIS G 3552 による。
 - 2. 金網の表面仕様は, 亜鉛メッキ 3, 4 種 (Z-GS3, 4) を標準とし, 亜鉛メッキカラー3, 4 種 (C-GS3, 4), 厚メッキ 7 種 (Z-GS7), 厚メッキカラー7 種 (C-GS7) 及び合成樹脂 (ポリエチレン) 被覆 3, 4 種 (E-GH3, 4) を使用する場合は, 補正係数を適用する。

表2.2 市場単価の規格・仕様区分 (アンカー設置)

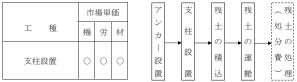
XIII I III STEEN WENT WENT WENT					
規格・仕様					
	D22mm ×長1,000mm		箇所		
岩盤用	D25mm ×長1,000mm		箇所		
石盤用	D29mm ×長1,000mm		箇所		
	D32mm ×長1,000mm	箇所			
	羽根付アンカー	径 25mm ×長 1,500mm	箇所		
	高耐力アンカー	アンカー有効長1,500mm	箇所		
土中用	(プレート羽付)	アンカー有効長2,000mm	箇所		
	高耐力アンカー	アンカー有効長1,500mm	箇所		
	(溝形鋼羽付)	アンカー有効長2,000mm	箇所		

表2.3 市場単価の規格・仕様区分(支柱設置)

	規 格・仕 様	単 位
	支柱高 2.0m	箇所
ポケット式支柱	支柱高 2.5m	箇所
(アンカー固定式)	支柱高 3.0m	箇所
	支柱高 3.5m	箇所
	支柱高 4.0m	箇所

(注) 支柱設置用のアンカーは岩盤用を標準とし、土中用の場合は補正係数を適用する。

訂正後



- (注) 1. 材料の小運搬・持ち上げを含む。
 - 2. 支柱設置用アンカーの材料費及び設置費を含む。
 - 3. 支柱設置時に発生する残土の処理(処分費)は含まない。

2-2 市場単価の規格・仕様区分

落石防止網(ロックネット)設置工の市場単価の規格・仕様区分は下表のとおりである。

表2.1 市場単価の規格・仕様区分 (金網・ロープ設置)

		規	格・	仕 様	単 位
亜鉛メッキ 3,	4種	(Z-GS3,	4)	線径 2.6mm	m2
亜鉛メッキ 3,	4種	(Z-GS3,	4)	線径 3.2mm	m2
亜鉛メッキ 3,	4種	(Z-GS3,	4)	線径 4.0mm	m2
亜鉛メッキ 3,	4種	(Z-GS3,	4)	線径 5.0mm	m2

- (注) 1. 表中の()内は、JIS G 3552による。
 - 2. 金網の表面仕様は, 亜鉛メッキ 3, 4 種 (Z-GS3, 4) を標準とし, 亜鉛メッキカラー3, 4 種 (C-GS3, 4), 厚メッキ 7 種 (Z-GS7), 厚メッキカラー7 種 (C-GS7) 及び合成樹脂 (ポリエチレン) 被覆 3, 4 種 (E-GH3, 4) を使用する場合は、補正係数を適用する。

表2.2 市場単価の規格・仕様区分 (アンカー設置)

致2. 2 市场干面0%们 在标题为 (7 2 2)					
規格・仕様					
	D22mm ×長1,000mm	箇所			
岩盤用	D25mm ×長1,000mm		箇所		
石盤用	D29mm ×長1,000mm		箇所		
	D32mm ×長1,000mm	箇所			
	羽根付アンカー	径 25mm ×長 1,500mm	箇所		
	高耐力アンカー	アンカー有効長1,500mm	箇所		
土中用	(プレート羽付)	アンカー有効長2,000mm	箇所		
	高耐力アンカー	アンカー有効長1,500mm	箇所		
	(溝形鋼羽付)	アンカー有効長2,000mm	箇所		

表2.3 市場単価の規格・仕様区分(支柱設置)

規格・仕様					
ポケット式支柱 (アンカー固定式)	支柱高 2.0m	箇所			
	支柱高 2.5m	箇所			
	支柱高 3.0m	箇所			
	支柱高 3.5m	箇所			
	支柱高 4.0m	箇所			

(注) 支柱設置用のアンカーは岩盤用を標準とし、土中用の場合は補正係数を適用する。

訂正前

(2) 加算率・補正係数の数値

表2.3 加算率・補正係数の数値

	X-1-1/1/2/11 1112 1113X-1-3X-12					
	区 分	記 号	吹付枠工	ラス張工		
		S ₀	(500m以上)	(1,000m2以上)		
		_	0%	0%		
		9	0% 0% (250m 以上 500m 未満) (500m2 以上 1,000m2 未満 10% 15% S2 (100m 以上 250m 未満) (250m2 以上 500m2 未満 20% 30% (100m 未満) (250m2 未満)	(500m2以上1,000m2未満)		
加	施工規模	51	10%	15%		
算	旭上观保	0	(100m以上250m未満)	(250m2 以上 500m2 未満)		
率		32	20%	30%		
		c	(100m 未満)	(250m2 未満)		
		S ₃	40%	40%		
補	時間的制約を受ける場合	K_1	1.10	1. 15		
補正係数	ラス張工で法面清掃を	K_2	_	0. 75		
数	必要としない場合	IX2		0.75		

- (注)1. 施工規模加算率(S₁),(S₂)又は(S₃)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K₁)が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。
 - 2. ラス張工で法面清掃を必要としない場合の補正係数 (K_2) は、客土吹付工においてラス張工を施工する場合に適用する。補正により、法面清掃とその際発生する残土の積込・運搬費用が市場単価より除かれる。

2-4 加算額

加算額の適用基準

表2.4 加算額の適用

	規格・仕様	適 用 基 準	単 位	
	水切モルタル・コンクリート	水切モルタル・コンクリートを施工する場合、	m3	
	N. 91 C/10 / / C - C / /	設計数量にしたがって加算する。	om	
加算額	表面コテ仕上げをする場合	吹付表面をコテ仕上げする場合、設計数量に	m2	
額	衣面 一 / 仕工 / と / る 物日	したがって加算する。	1112	
	間詰モルタル・コンクリート	間詰モルタル・コンクリートを施工する場合,	m3	
	同品でルグル・コングリート	設計数量にしたがって加算する。	GIII	

2-5 直接工事費の算出

直接工事費= (設計単価 (注2) ×設計数量) +加算額総金額(注2)

(注 1) 設計単価=標準の市場単価× $(2+S_0$ 又は S_1 , S_2 又は $S_3/100$) × $(K_1 \times K_2)$

(注2) 加算額総金額=加算額×総数量

訂正後

(2) 加算率・補正係数の数値

表2.3 加算率・補正係数の数値

	区 分	記 号	吹付枠工	ラス張工		
加算率		S ₀	(500m以上) 0%	(1,000m2以上) 0%		
	按工用機	S_1	(250m以上500m未満) 10%	(500m2 以上 1,000m2 未満) 15%		
	施工規模	S ₂	(100m以上 250m 未満) (250m2以上 500m2 20% 30%			
		S ₃	(100m 未満) 40%	(250m2 未満) 40%		
補	時間的制約を受ける場合	K_1	1.10	1. 15		
補正係数	ラス張工で法面清掃を 必要としない場合	K_2	_	0.75		

- (注) 1. 施工規模加算率 (S_1) , (S_2) 又は (S_3) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K_1) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。
 - 2. ラス張工で法面清掃を必要としない場合の補正係数 (K_2) は、客土吹付工においてラス張工を施工する場合に適用する。補正により、法面清掃とその際発生する残土の積込・運搬費用が市場単価より除かれる。

2-4 加算額

加算額の適用基準

表2.4 加算額の適用

	X2. 4 加昇银00旭用				
	規格・仕様	適 用 基 準	単 位		
	水切モルタル・コンクリート	水切モルタル・コンクリートを施工する場合, 設計数量にしたがって加算する。	m3		
加算額	表面コテ仕上げをする場合	吹付表面をコテ仕上げする場合, 設計数量に したがって加算する。	m2		
	間詰モルタル・コンクリート	間詰モルタル・コンクリートを施工する場合, 設計数量にしたがって加算する。	m3		

2-5 直接工事費の算出

直接工事費= (設計単価 (注1) ×設計数量) +加算額総金額(注2)

- (注 1) 設計単価=標準の市場単価× $(1 + S_0 \times IS_1, S_2 \times IS_3 / 100) \times (K_1 \times K_2)$
- (注2) 加算額総金額=加算額×総数量